

住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり 駅周辺地区勉強会ニュース

第5号 平成25年2月

高砂駅周辺の現状・課題と まちづくりのアイデアを話し合いました ～第11回勉強会～



商業振興の専門家による講演



ワークショップの様子

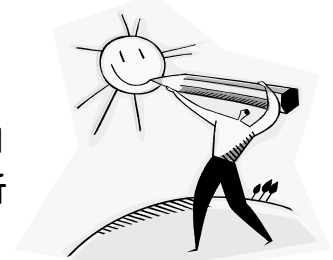
第11回勉強会（平成24年9月26日）は、前回からの宿題として、高砂駅周辺と仙川駅周辺・青砥駅周辺の人口構成などの比較をしました。続いて、商業振興の専門家から「まちなか商店街の賑わいづくり」というテーマでお話しをいただきました。

■講演内容

テーマ：まちなか商店街の賑わいづくり

- (1) 高砂駅周辺地区商業の現状
- (2) 高砂駅周辺地区商業の役割
- (3) 商店街での取組み事例
- (4) 賑わいづくりのために
 - ① 将来のまちづくり
 - ② 高砂駅周辺で“今すぐできること”の提案

講演後のワークショップでは、前回から話し合っている高砂駅周辺の現状・課題に加え、“まちづくりのアイデア”についても話し合いました。



第11回勉強会を終え、ここまでの成果として、第10回・第11回勉強会で出た意見をもとに、高砂駅周辺のまちづくりの現状分析を行いました。

発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

(担当：田中・飯田・中村)

電話 03-5654-8344 (直通) 03-3695-1111 (内線 3412)

ファックス 03-3697-1660

〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1

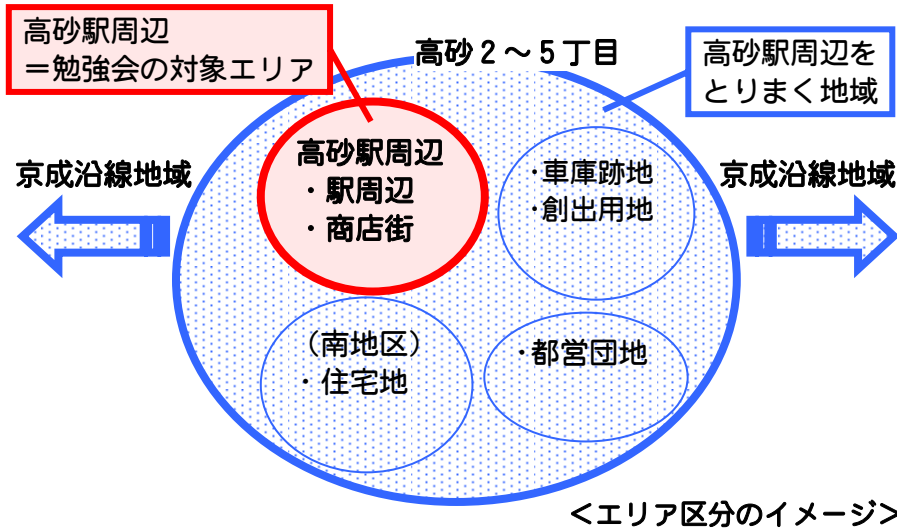
高砂駅周辺のまちの現状分析

～第10・11回勉強会のまとめ～



1. エリアによる区分

さまざまな意見が出た中で、発言の意図する場所が駅周辺や商店街など「高砂駅周辺」に関わるものと、その外側の高砂2～5丁目全体や京成沿線地域を含めた「高砂駅周辺をとりまく地域」に関わるものがありました。



<エリア区分のイメージ>

2. これまでの勉強会での発言の分類

これまでの勉強会での主な発言を上記のエリア別に整理し、さらにまちの「良いところ」「良くないところ」に分けて、次の4つに分類しました。

① 高砂駅周辺の良いところ <駅周辺> ●駐輪場ができたことで、放置自転車が改善された。 ●今後、鉄道の高架化が実現されれば、もっと便利になる。 <商店街> ●地区内で、食料品や日用品を買い揃えることができる。 ●昔からの固定客が多く、近所づきあいができている。 	② 高砂駅周辺の良くないところ <駅周辺> ●駐車場や公園・ベンチなどが不足し、外から来た人に快適な空間となっていない。 ●ごみ捨てやタバコのマナーなどは、改善の余地がある。 <商店街> ●個人商店が閉店した後、テナント利用ができない。 ●商店街の店舗構成が偏っている。 (例えば、高校生・若者が買物する店、家族で利用できる店が不足している) ●繁華街にはしたくない。 ●今後、イトーヨーカドーがどうなるか不安。
③ 高砂駅周辺をとりまく地域の良いところ <高砂2～5丁目> ●安心して生活できる。 ●地区の中に、伝統産業など隠れた魅力がある。 ●若者を中心に新しい住民が増えつつある。 <京成沿線地域> ●スカイライナー等の鉄道利用客を取り込める可能性がある。	④ 高砂駅周辺をとりまく地域の良くないところ <高砂2～5丁目> ●現在は、ファミリー世帯が住みたいと感じるような魅力をアピールできていない。 ●その結果、相対的に高齢者が多いまちになっている。 <京成沿線地域> ●若者を青砥にとられている。

現状分析をふまえ、駅周辺まちづくりのテーマを検討しました

～第12回勉強会～

第12回勉強会(平成24年12月10日)は、「高砂駅周辺のまちの現状分析」の結果をふまえ、来年度の駅周辺地区勉強会でどのようなテーマを検討していくかを話し合いました。

●ワークショップでの主な意見(検討テーマの候補として)

- ・駅前に“あると良い”施設の検討(例えば、団地建替えに伴う郵便局の移転や、不足業種の誘致等)
- ・テナント誘致に対応できるスペースの検討(例えば、駅前の再開発や高架下の活用等)
- ・金町の東京理科大キャンパスなどに通う学生をターゲットにしたまちづくりの検討
- ・車庫移転・団地建替えに伴う跡地利用(例えば医療施設、商業施設等の誘致)の検討 など



勉強会・ワークショップの様子

●勉強会について

第12回勉強会では、駅周辺地区勉強会の意義や、高砂駅周辺のまちづくりと鉄道の立体化との関係について、参加者同士で議論をしました。

鉄道の立体化は原則として東京都が事業主体となって実施されますが、鉄道の立体化と併せて駅周辺のまちづくりを進めることにより、事業の効果を高めることができます。鉄道の立体化に伴う駅周辺のまちづくりを円滑に進めるためには、しっかりと事前準備をして、地元が主体的にまちづくりに関わっていくことが重要です。

高砂地区開発協議会および駅周辺地区勉強会は、鉄道の立体化の実現を目指して、地元のまちづくり機運を盛り上げるために活動しています。

住宅地のまちづくりを視察しました

平成24年10月18日には、南地区勉強会を中心に、駅周辺地区勉強会メンバーも含む19人の皆さんが参加して、高松一・二丁目地区、田柄五丁目地区(ともに練馬区)を視察しました。

2地区とも、農地の点在する戸建住宅地において、都営大江戸線の開業による都市開発を適切にコントロールし、住宅地の良好な環境を守るために、住民がまちづくりのルールを定めた地区です。



(上)視察の様子



(左)住宅地の中に、広い畑が残っていました

★勉強会のスケジュール

- 第13回勉強会 (平成25年2月13日) 事例視察
- 第14回勉強会 (平成25年3月頃) 平成24年度のまとめ

キリトリ線

駅周辺地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第5号を読んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前：
お電話番号：
FAX：



高砂地区開発協議会事務局
葛飾区役所 高砂地域整備担当
FAX : 03-3697-1660